

# Googleタグマネージャーの設定

LINE対応Web予約の管理画面から行うGTMの設定について

更新日: 2022/1/27

# トリガー

Googleタグマネージャーからトリガーの設定を行います

# トリガー

本製品の連携に必要なトリガーを設定します。

すべて設定する必要はなく、ニーズに合わせて取捨選択できます。

以下の画面では全ての設定を行っています。

The screenshot shows a web interface for configuring triggers. On the left, a sidebar lists navigation options: 'Default Workspace', 'サマリー', 'タグ', 'トリガー' (highlighted), and '変数'. The main area is titled 'トリガー' and contains a table of configured triggers. A search icon and a '新規' button are in the top right of the table area.

<input type="checkbox"/>	名前 ↑	イベントタイプ	フィルタ	タグ	最終更新日
<input type="checkbox"/>	カスタム イベント reservation-cancel	カスタム イベント		2	3ヶ月前
<input type="checkbox"/>	カスタム イベント reservation-make	カスタム イベント		2	3ヶ月前
<input type="checkbox"/>	履歴の変更	履歴の変更		1	3ヶ月前

# 予約完了イベント

予約が確定したときに発行されるイベントです。

× カスタム イベント reservation-make

### トリガーの設定

トリガーのタイプ

 カスタム イベント 

イベント名

reservation-make  正規表現一致を使用

このトリガーの発生場所

すべてのカスタム イベント  一部のカスタム イベント



# 予約キャンセルイベント

予約がキャンセルされたときに発行されるイベントです。

× カスタム イベント reservation-cancel

### トリガーの設定

トリガーのタイプ

 カスタム イベント 

イベント名

reservation-cancel  正規表現一致を使用

このトリガーの発生場所

すべてのカスタム イベント  一部のカスタム イベント

# 履歴の変更

ユーザ操作（画面遷移）を取得したい場合は、以下のトリガーを作成してください。

× 履歴の変更 □ 保存

### トリガーの設定

トリガーのタイプ

🕒 履歴の変更 ✎

このトリガーの発生場所

すべての履歴の変更  一部の履歴の変更

# 本製品独自のイベント

本製品が提供するイベントとその変数は以下の通りです（2022年1月現在）。

最新の情報は「LINE対応Web予約管理画面＞外部連携サービス」をご確認ください。

## 予約完了イベント(reservation-make)

```
{  
  event: "reservation-make",  
  reservation-id: 予約ID,  
  reservation-shop-id: 店舗ID,  
  reservation-shop-name: 店舗名,  
  reservation-ss-shop-id: サロンズソリューション店舗ID,  
  reservation-datetime: 予約日時  
}
```

## 予約キャンセルイベント(reservation-cancel)

```
{  
  event: "reservation-cancel",  
  reservation-id: 予約ID,  
  reservation-shop-id: 店舗ID,  
  reservation-shop-name: 店舗名,  
  reservation-ss-shop-id: サロンズソリューション店舗ID,  
  reservation-datetime: 予約日時  
}
```

# 変数

Googleタグマネージャーから変数の設定を行います



# 変数にデータレイヤーの変数を登録する

使いたい変数だけでOKです。新規ボタンを押して作成しましょう。

現在のワークスペース

Default Workspace >

- サマリー
- タグ
- トリガー
- 変数**
- フォルダ
- テンプレート

### 組み込み変数 ②

名前 ↑	タイプ
Page Hostname	URL
Page Path	URL
Page URL	URL
Referrer	HTTP 参照

### ユーザー定義変数

<input type="checkbox"/> 名前 ↑	タイプ	最終更新日
<input type="checkbox"/> データレイヤーの変数-reservation-id	データレイヤーの変数	3ヶ月前

# 変数のタイプ

## データレイヤーの変数を選択

The screenshot displays a user interface for selecting a variable type. On the left, a panel titled 'データレイヤーの変数-reservation-shop-name' shows a '変数の設定' (Variable Settings) section with a placeholder icon and the text '変数タイプを選択して設定を開始...' (Select a variable type to start settings...). A '詳細' (Details) link is visible below. On the right, a '変数タイプを選択' (Select Variable Type) dialog is open, listing various categories:

- ナビゲーション
- HTTP 参照 (この値は、HTTP 参照に設定されます。)
- URL
- ページ変数
  - JavaScript 変数 (この値は、指定したグローバル JavaScript 変数に設定されます。)
  - カスタム JavaScript (この変数では、指定した JavaScript 関数に基づきブラウザでその値を計算します。この変数が使われるのは、指定した JavaScript 関数が呼び出されたときに限ります。)
  - データレイヤーの変数** (This option is highlighted with a red box in the original image.)
  - ファーストパーティ Cookie (この値は、名前が一致するファーストパーティ Cookie の最初の値に設定されます。)
- ページ要素
  - DOM 要素 (この値は、DOM 要素のテキストまたは指定した DOM 要素の属性の値に設定されます。)
  - 自動イベント変数
  - 要素の視認性 (この値は、指定された DOM 要素の視認性に基づいて設定されます。)
- ユーティリティ
  - Google アナリティクス設定 (この変数では、複数の Google アナリティクス タグに適用する Google アナリティクス設定を指定)

# 変数の設定

データレイヤーの変数名に、利用したい変数の名前を記入してください。

発行するイベントを通じて利用できる変数の名前は本製品独自のイベントをご確認ください。

× データレイヤーの変数-reservation-shop-name

変数の設定

変数のタイプ

データレイヤーの変数

データレイヤーの変数名 ⓘ

reservation-shop-name

データレイヤーのバージョン

バージョン 2

デフォルト値を設定

> 値の形式 ⓘ

# タグ

いよいよタグの設定です。あと少しです！

# タグを登録する

Googleアナリティクスなどのサービスや、独自のカスタムタグを登録することができます。

現在のワークスペース

Default Workspace >

- サマリー
- タグ**
- トリガー
- 変数
- フォルダ
- テンプレート

タグ	タイプ	配信トリガー	最終更新
<input type="checkbox"/> 名前 ↑			
<input type="checkbox"/> cancel the reservation	カスタム HTML	カスタム イベント reservation-cancel	3日前
<input type="checkbox"/> GA4 イベント reservation_cancel	Google アナリティクス: GA4 イベント	カスタム イベント reservation-cancel	3ヶ月前
<input type="checkbox"/> GA4 イベント reservation_make	Google アナリティクス: GA4 イベント	カスタム イベント reservation-make	1ヶ月前
<input type="checkbox"/> Google アナリティクス GA4 設定	Google アナリティクス: GA4 設定	Initialization - All Pages  履歴の変更	3ヶ月前
<input type="checkbox"/> made a reservation	カスタム HTML	カスタム イベント reservation-make	3日前

# カスタムタグの設定例

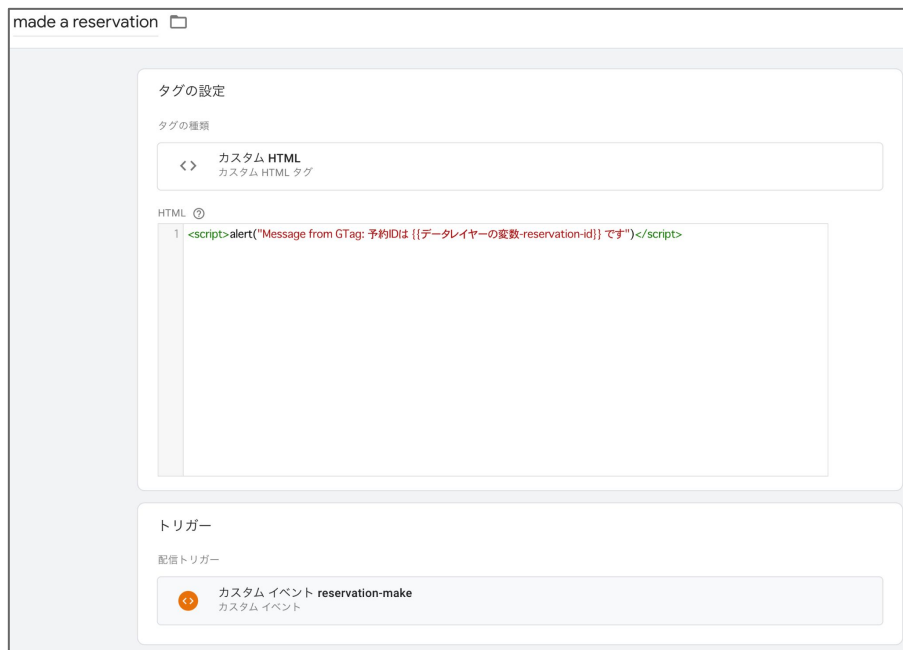
自社やサードパーティが提供する独自タグに連携してみましょう。

サードパーティが提供するタグを設定する場合は、まず提供元にGoogleタグマネージャでの設定方法をご確認いただくことをおすすめします。

独自のタグに連携する場合は、タグの種類を「カスタムHTML」にし、HTMLの欄にタグを設置してください。タグに[変数](#)を渡すには右の画像にあるように、`{{GTM上の変数名}}`と記述します。

最後に「タグを実行したいタイミング」をトリガーに設定して完了です。

画像では予約完了時にカスタムタグを実行する設定になっています。



# Google アナリティクス 4 の設定例1

## ページ遷移をGA4に連携したい

タグの種類を「Googleアナリティクス: GA4設定」にし、測定IDを設定してください。

トリガーには「Initialization - All Pages」と「[履歴の変更](#)」を登録してください。



# Googleアナリティクス4の設定例2

## 本製品独自イベントをGA4で計測したい

以下のように設定します。イベントパラメータは用途に合わせて必要なものを選択してください。

次のページで詳しくみていきます。

GA4 イベント reservation\_make

### タグの設定

タグの種類

Google アナリティクス: GA4 イベント  
Google マーケティング プラットフォーム

設定タグ ①  
Google アナリティクス GA4 設定

イベント名 ②  
reservation\_make

イベント パラメータ

パラメータ名	値
reservation_id	{{データレイヤーの変数:reservation-id}}

トリガー

配信トリガー

カスタム イベント reservation-make  
カスタム イベント

GA4 イベント reservation\_cancel

### タグの設定

タグの種類

Google アナリティクス: GA4 イベント  
Google マーケティング プラットフォーム

設定タグ ①  
Google アナリティクス GA4 設定

イベント名 ②  
reservation\_cancel

イベント パラメータ

パラメータ名	値
reservation_id	{{データレイヤーの変数:reservation-id}}
app-event	reservation_cancel

トリガー

配信トリガー

カスタム イベント reservation-cancel  
カスタム イベント



# Googleアナリティクス4の設定例2

イベントパラメータを設定しましょう。以下では、すでに予約IDが登録済みですが、ここに店舗名を追加してみます。

The image shows two screenshots of the Google Analytics 4 event parameter configuration interface. The top screenshot shows a table with two rows. The first row has 'reservation\_id' in the 'Parameter Name' column and '{{データレイヤーの変数-reservation-id}}' in the 'Value' column. The second row is empty. A red box highlights the 'Add' icon (a small building) in the 'Value' column of the second row. An arrow points from this icon to a 'Select Variable' dialog box on the right. The dialog box lists several variables: 'Page Hostname', 'Page Path', 'Page URL', 'Referrer', 'データレイヤーの変数-reservation-id', and 'データレイヤーの変数-reservation-shop-name'. The bottom screenshot shows the same table, but now the second row is filled with 'reservation\_shop\_name' in the 'Parameter Name' column and '{{データレイヤーの変数-reservation-shop-name}}' in the 'Value' column. An arrow points from the 'Select Variable' dialog box to the 'Value' column of this second row.

イベントパラメータ	パラメータ名	値
	reservation_id	{{データレイヤーの変数-reservation-id}}

変数を選択

- 名前 ↑
- Page Hostname
- Page Path
- Page URL
- Referrer
- データレイヤーの変数-reservation-id
- データレイヤーの変数-reservation-shop-name

イベントパラメータ	パラメータ名	値
	reservation_id	{{データレイヤーの変数-reservation-id}}
	reservation_shop_name	{{データレイヤーの変数-reservation-shop-name}}

パラメータ名は自由ですが「-」は文字化けすることがあるため避け、「\_」を代わりに使うとことをオススメします。

# お困りの場合

サポートサイトをご活用いただき、ご不明点ございましたらお気軽にご連絡ください。

## ▪ お問い合わせ

メール [support@willdo.co.jp](mailto:support@willdo.co.jp)

お電話 フリーダイヤル 0120-36-7136 （携帯電話から 0596-31-0005）

LINE [お友達追加](#)

▪ Q&A (<https://www.salons.jp/pages/874417/faq>)

ソフトの利用に関するよくある質問、便利にお使いいただくためのヒントがつまっています。

## ▪ ご意見箱

サービス向上のため、製品についてのご意見・ご要望、お客様の声を広く募集しております。  
お気軽にご意見をお寄せください。

お問い合わせ



LINE



ご意見箱

